

平成29年度 ワカメ養殖情報第3号 (平成30年2月20日)

- 5℃以下の水温帯は、六ヶ所村沖90～160海里(167～296km)を南西に進行して、洋野町沖からトドヶ崎沖の10～20海里(19～37km)付近に接近しながら南下しており、その南端は歌津埼沖130海里(241km)にあります(図1)。
- 2月20日の定地水温は、野田湾で5.8℃(過去平均差-0.8℃)、船越湾で7.7℃(過去平均差0.8℃)、広田湾で7.1℃(過去平均差0.1℃)でした(図2)。
- 本県沖合における栄養塩の表面分布は前年同時期並みの値であり(図3)、2月14日における県南部湾内定点の栄養塩も例年並みの値となっています。
- 2月9日の県央地区における葉長の測定結果は137cmでした。また、2月13日の県南地区における葉長の測定結果は133cmでした(図4)。
- 栄養塩や水温の動きに注意し養成管理と収穫を進めて下さい。

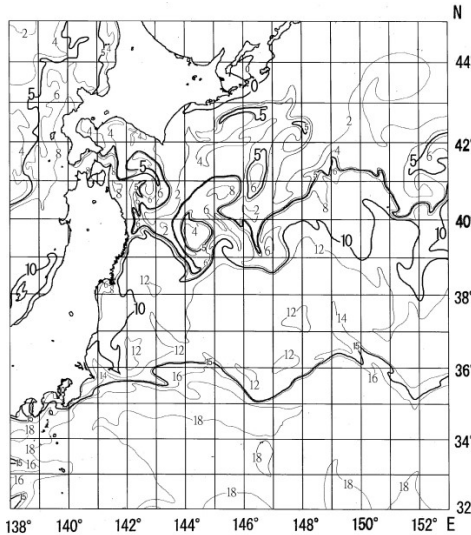


図1 本県沖合における表面水温分布(2/18～19)

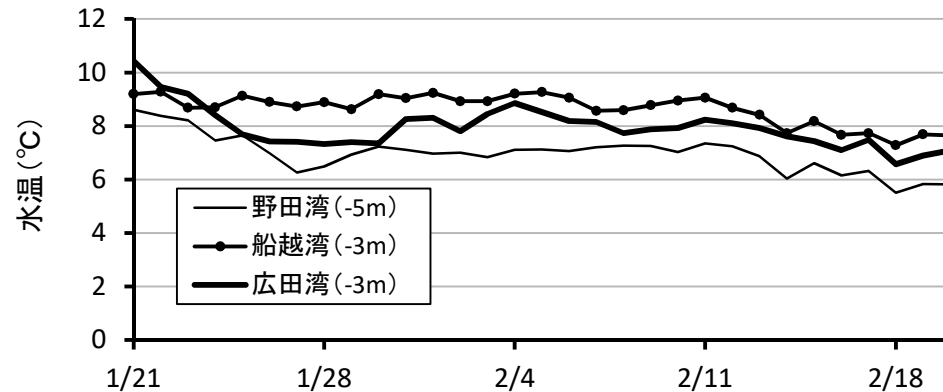


図2 野田湾、船越湾、広田湾における水温(午前10時)の推移(直近1ヶ月)

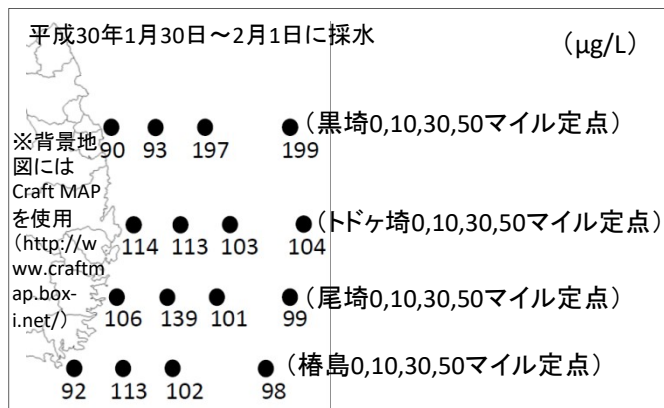


図3 本県沖合における栄養塩の表面分布

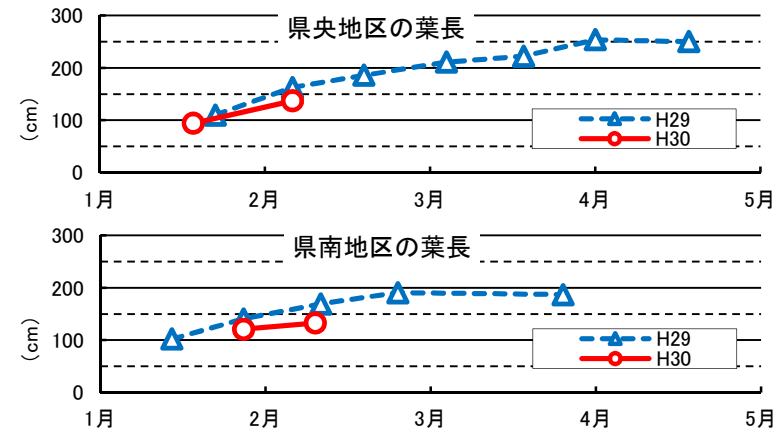


図4 本県養殖施設におけるワカメ葉長の推移

※湾内自動水温観測装置(定地)水温観測システムの設置、水温及び栄養塩供給予測のためのソフトウェア開発、沖合栄養塩の分析は、農林水産省農林水産技術会議による「食料生産地域再生のための先端技術展開事業」による成果です。なお、定地水温の値は、午前10時の水温を採用しています。

※当情報は水産技術センターホームページでもご覧いただけます。 URL: <http://www2.suigi.pref.iwate.jp/>